

略歴と研究業績

ひのさとし
日野三十四教授

昭和20年1月23日

〔略歴〕

学歴

昭和43年3月 東北大学工学部機械工学第二学科卒業

職歴

昭和43年4月 東洋工業（現マツダ）株式会社入社，ロータリーエンジン研究部へ配属

昭和44年8月～昭和62年12月

ロータリーエンジンの排ガス規制対策，燃費改善を研究

昭和55年～（生涯研究として）

トヨタ自動車の経営システムを研究

昭和63年1月 開発管理部へ移籍

昭和63年1月～平成11年12月

技術情報管理，部品共通化，モジュラー・デザイン，技術標準化，ISO9000対応，製品開発プロセス整備，業務システム化を推進

平成12年1月 同社休職

平成13年4月 中小企業診断士資格取得，経営コンサルティング事業所「経営智略研究所イマジン」開設

平成16年3月 マツダ株式会社退職

平成16年4月 広島大学大学院社会科学部科学研究科マネジメント専攻教授就任

所属学会・協会

日本品質管理学会

日本生産管理学会

日本経営工学会

中四国商経学会

日本バリュー・エンジニアリング協会

〔研究業績〕

I 著書

『トヨタ経営システムの研究 ―永続的成長の原理―』（単著），ダイヤモンド社，平成14年6月

『トヨタ無限成長の秘密』（同上書のハンゲル語翻訳版），東洋文庫（大韓民国），平成15年3月

『豊田式経営研究 永続成長的原理』（同上書の中国複雑漢字翻訳版），先鋒企業管理発展中心（中華民国），平成15年4月

『Inside the Mind of TOYOTA: Management Principles for Enduring Growth』（同上書の英語翻訳版），Productivity Press（米国），平成17年11月

II 論文

顧客満足と環境満足を両立する モジュラー・デザイン方法論の新展開	平成18年3月	日本生産管理学会第23回全国 大会講演論文集
顧客満足、組織満足および環境満足を實現する モジュラー・デザイン方法論	平成19年2月	生産管理 Vol.13, No.2
モジュラー・デザイン視点からの E-BOM 規範および E-BOM/M-BOM 連携	平成19年3月	日本生産管理学会第25回全国 大会講演論文集
製品多様化と部品少数化の二律背反を克服する モジュラー・デザイン方法論	平成19年10月	日本バリュー・エンジニアリ ング協会第40回 VE 全国大会 VE 研究論文集
E-BOM 規範と BOM データ連携システム —モジュラー・デザインと設計 ナレッジ・マネジメントの促進のために—	平成19年10月	生産管理 Vol.14, No.1

III 受賞

平成13年10月	論文「製品は多種少量、部品は少種大量とするモジュラー・デザインの適用方法」が (社) 全日本能率連盟の第53回全国能率大会第・部論文発表大会で優秀論文賞受賞
平成15年1月	著書『トヨタ経営システムの研究—永続的成長の原理—』が日本ナレッジ・マネジメント学会から研究奨励賞を受賞
平成19年3月	著書『Inside the Mind of TOYOTA: Management Principles for Enduring Growth』 が米 Shingo Prize for Excellent Manufacturing から2007 Research Awards を受賞
平成19年10月	論文「製品多様化と部品少数化の二律背反を克服するモジュラー・デザイン方法論」 が日本バリュー・エンジニアリング協会から入選論文賞を受賞

IV 特許

業務システム作成装置、方法及びプログラム	出願 平成19年8月
バグレスソフトウェアシステム設計支援装置、方法及びプログラム	出願 平成20年2月

〔社会貢献業績〕

平成17年4月～平成17年12月

フォルクスワーゲングループジャパン株式会社と『日本自動車産業の製品開発能力の
調査研究』で共同研究

平成17年8月～平成18年8月

広島大学派遣教授として
国内重工業会社にモ
ジュラー・デザイン方
法論を技術指導

平成18年2月～平成18年12月

広島大学派遣教授として
韓国電子デバイス会社
にモジュラー・デザイン
方法論を技術指導

